

治療現場を海外中継

豊橋ハートセンター 鈴木院長

ローマの専門学会へ

循環器疾患専門病院、豊橋ハートセンター(鈴木孝彦院長、同市内大山町)は九日、ローマ・ミラノ国際会議場で開かれている専門学会「JIM2002」や市内のセント・コロンバス病院へ、通称・風船治療の現場を生中継した。

(星野のりこ)

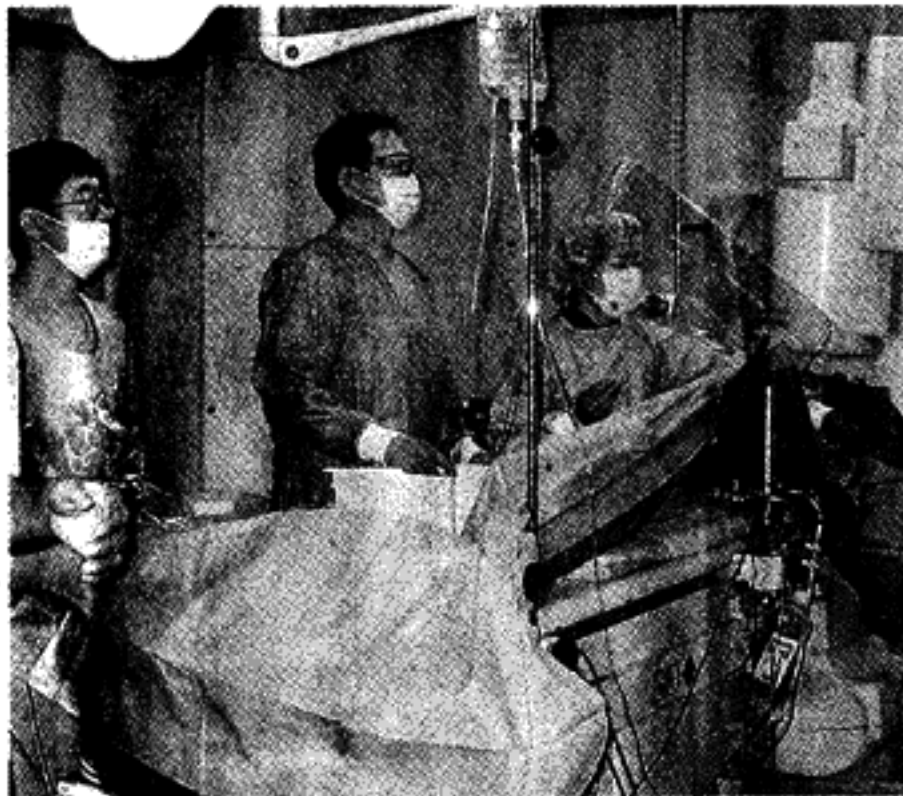
国内でも初

同学会には、日本はじめ世界各地から約二千人の医師らが参加。四日間にわたりディスカッション、セミナー、シンポジウムなど実施。学会代表で鈴木院長と親交の深い世界的権威者、イタリアのドクター・コロンボからの要請を受けた。

ライブには鈴木院長のほか、滋賀県立成人病センター長・玉井秀男氏、京都桂病院循環器科部長

・加藤修氏の二氏も参加。三氏が同センターで狭心症、心筋こうそく患者の治療をミラノへ生中継した。各手術室にはテレビカメラ教台がセットされ、同センターが昨年、院内に設置したNKT光ケーブルで東京KDD基地へ画像、音声を送信。そこから衛星放送で現地

へ中継した。鈴木院長は、開発されたばかりの国内第一号最新鋭医療機器を用い、現地ドクターに状況など説明、質問にも答えながらリアルタイムで治療を公開した。海外学会への治療ライブは日本でも初めてで、注目を集めた。



注目を集めた鈴木院長(中)の治療生中継―豊橋ハートセンターで